

● Honda移送安全運転プログラム

教育最前線

連載 38

送迎中の利用者に配慮した安全で快適な運転を身につけてもらう



バンパーの先端や前後輪のタイヤの位置を把握し、車両感覚を身につける

「これまで普段の生活でも軽自動車しか運転せず、普通自動車は20年ぶりです。自分一人で運転するだけならいいのですが、利用者の方々を乗せるということは人の命を預かることです。そうした不安を取り除いて、今以上の安全運転ができるようになっておく必要があると思います。ちょうど、運転免許更新があり、

運転姿勢や車両感覚などの基本を再確認する

「移送安全運転プログラム（以下、移送プログラム）」は、ホンダの福祉関連安全運転教育プログラムの1つで、ホンダの交通安全センターで提供している。移送プログラムの目的は、高齢者や障がいをお持ちの方々が施設等へ通うために必要な送迎サービスが増加する中、サービスを提供する方々が、乗降や同乗中の利用者への配慮など安全運行に必要な感情コントロールや運転基礎感覚・操作を実体験により身につけてもらうことである。



地元の警察署に相談したところ、交通安全センターレインボー熊本のことを教えていただき、問い合わせたところ、移送プログラムのことを知ったというわけです」と川口さんは話す。

川口さんが送迎を担当するのは主に利用者の帰宅時だ。同乗する利用者は日々異なり、組み合わせによって送迎のルートも変わるといふ。また、利用者の玄関先の間近までクルマを寄せたり、狭い坂道をバックで走行しなければならぬ場面もあるそうだ。

交通安全センターレインボー熊本は、黒澤明良インストラクターはまず、川口さんにトレーニング車両であるステップワゴンの運転席に座ってもらい、正しい運転姿勢を説明。その後、川口さんがステップワゴンの運転が初めてということ、パイロンやマーカーなどを使って、前後輪やフロントバンパーの延長線が運転席から、どのように見えるか確認しながら車両感覚をつかんでもらう。

続いて、ブレーキ訓練。60km/hから



インストラクターが川口さんの急ブレーキを再現し、それを後席で体験することにより、利用者の状態を理解することができた

自分が改善すべき点に気づくことができる

最後は狭路走行。パイロンで囲まれた狭路コースで前進とバックで走行する。前進ではパイロンに接触せずにスムーズにクリアできる川口さんだが、バックで苦戦。カーブにさしかかると上手く後退していくことができなくなるのだ。それを見ていた黒澤インストラクターは、タ

移送プログラムでは受講者が不安に感じているところ、インストラクターが現場で内容を調整する

の急制動を体験した後、目標停止を行う。目標停止は目標となるパイロンに合わせてスムーズに停止するトレーニングである。途中で、川口さんを後席に座らせて、黒澤インストラクターが川口さんのブレーキを再現。利用者の立場になって、どのような場になったら不快に感じないブレーキが考えられるかを川口さんに考えてもらい、再び練習を続ける。

イヤが左右、まっすぐのどの方向になっているかわからないままバックしないようにアドバイス。わからなくなった時は少し前進して、クルマが動いた方向でタイヤの向きを確認することを提案した。川口さんはそれを実践することで、狭路でもスムーズにバックできるようになった。

約3時間にわたるプログラムを終えた川口さんは「自分の悪いクセなど改善すべき点に気づくことができ、受講して良かった。正しい姿勢で運転することによって、見えるものが変わってくる」とが実感できました」と感想を語ってくれた。「受講前はハンドルが左右に何回転回せるのかも知らないという状態でした。インストラクターの方のアドバイスで、ハンドルを切った位置とタイヤの向きがイメージできるようになりました。また、後席での急ブレーキ体験も貴重な機会でした。運転席で自分が急ブレーキをかけた時より衝撃を感じたので、急ブレーキにならないようにスピードを控え、車間距離を十分にとろうと思います。利用者の方々の命を預かっていることを常に意識して、事故のないように心がけたい」。

移送プログラムを通じて、川口さんは送迎する車種が変わるといふ不安を解消し、同乗する利用者への配慮も再確認できたようである。

川口さんのように日々の送迎サービスを担うドライバーで、自分の運転への不安を感じている方もいるだろう。そうした不安を解消し、同乗する利用者への安全を確保するため、ホンダは移送安全運転プログラムを提供している。

9m四方のエリアに前進で入り、その中で切り返しを繰り返して前進で出てくる「袋のネズミ体験」にも、川口さんはチャレンジ。そこで車両感覚や、やさしいブレーキ・アクセル・ハンドル操作を体験した



インストラクターのアドバイスに従い、バックでの狭路走行を練習することで苦手を克服

